

平成 27 年 5 月 21 日 00222 号

編集者:佐藤 寿春

# 北見武道通信

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

## ニュースレター【武道館情報】北見市武道館視察団が来館

平成 27 年 5 月 14 日(木)午後 3 時半頃、北見市武道館に、全選連北海道支部事務局長協議会の札幌市・夕張市を除く道内各市選挙管理委員会事務局長 約 30 名が視察に訪れました。視察は、毎年全道各地で行われている施設視察研修の一環として予定されたもので、佐藤壽春施設長より館の概要説明を聞いておりました。視察を終えた参加者からは「非常に綺麗な施設ですね。」「とても立派な素晴らしい施設です」との言葉をいただきました。



## 【柔道情報】北見柔道連盟春季昇段審査が行われました！

5 月 16 日(土)10 時・北見市武道館(道場 1)に於いて北見柔道連盟が主催する春季昇段審査が行われました。まず、北見柔道連盟の指導員による柔道「投げの形」や「固の形」の講習会が念入りに行われ、その後、形審査と試合審査が行われました。審議は即日行われ合否の案内は、後日、本人に郵送で知らされることの事です。



## 連載 「武道宝鑑」第 2 弾 磯貝 一 <柔道指導の心得>

### 三、修行途上の障害について

これは誰しも修行中経験することと思うが、進歩は必ずしも同じ速度で行くものではない。ある時期には吾ながら不思議と思うほど進歩を見ることがあるが、ある場合には、丸でこの反対で、己の身体は死物同様、如何に努力してもあせっても、少しも思うように働くことが出来なくなることがある。それは多く、一つの階段からさらに上の階段に上る時の現象で、例えば、技だけに満足出来なくなり、精神的面を重んじて来るような時などの如き、技の精神方面を重んじる餘り、技の実際とその精神との調和がとれず、今まで利いた技も利かなくなる事がある。これは修行と上の重大な一時期で、かかる時、修行によっては、『この頃俺は何だか丸で技も出ないし體も利かなくなった。いくら稽古しても不思議に体が動かず、自分の思うような技が出ない』と悲観してしまい、甚しきに至っては『逆も俺はこれ以上進歩はしないのだ』と思って稽古に熱がなくなり、稽古を怠けるようにさへなってくる。が、これはだれにもある現象で、かかる場合若し指導者がそれに留意しないで指導よろしきを得なかつたら、その修行者は、最早それ以上の進歩はなくして遂には修行を止めてしまわぬとも限らない。即ち指導者は、かかる時、早くもこの現象と原因を知って、この障害を切り開くべく、共に研究して、之を励ますなり、或はまた修行者自身その境地を抜け出るように適當の方法を以て指導することを忘れてはならない。

つづく